

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2006-292405(P2006-292405A)
 【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)
 【年通号数】公開・登録公報2006-042
 【出願番号】特願2005-109568(P2005-109568)
 【国際特許分類】

G 0 1 R 31/02 (2006.01)

H 0 1 R 43/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 R 31/02

H 0 1 R 43/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月19日(2010.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

検査すべきワイヤハーネスのコネクタの接続端子と接続するための接続端を有する検査用コネクタと該検査用コネクタの前記接続端に接続したリード線とを備えた複数の検査ユニットを、検査台の表面の任意の位置に交換自在に取り付け、前記リード線を介して前記接続端を検査回路に接続したことを特徴とするワイヤハーネス検査装置。

【請求項2】

前記検査ユニットは前記検査用コネクタを取り付けた基板を有し、該基板を前記検査台の架台に取り付けるようにした請求項1に記載のワイヤハーネス検査装置。

【請求項3】

前記検査用コネクタに前記ワイヤハーネスのコネクタをロックするためのロックレバーを設け、前記検査ユニットに設けた駆動手段により前記ロックレバーを駆動することを特徴とする請求項1又は2に記載のワイヤハーネス検査装置。

【請求項4】

前記ロックレバーは検査終了時又は該当のコネクタが不良である場合に前記コネクタに対するロックを解除するようにした請求項3に記載のワイヤハーネス検査装置。

【請求項5】

前記検査用コネクタにイジェクトピンを設け、前記ワイヤハーネスのコネクタを駆動手段により押し出すことを特徴とする請求項1～4の何れか1つの請求項に記載のワイヤハーネス検査装置。

【請求項6】

前記イジェクトピンは検査終了時又は該当のコネクタが不良である場合に前記コネクタを押し出すようにした請求項5に記載のワイヤハーネス検査装置。

【請求項7】

前記基板の表面にランプを設け、前記ワイヤハーネスのコネクタを嵌合すべき箇所及び(又は)該当コネクタの異常を表示するようにしたことを特徴とする請求項2に記載のワイヤハーネス検査装置。

【請求項8】

前記リード線は中間コネクタを介して前記検査回路に接続した請求項 1 ~ 7 の何れか 1 つの請求項に記載のワイヤハーネス検査装置。